

# HIDWR

## 兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2022年第47週(11月21日~11月27日)

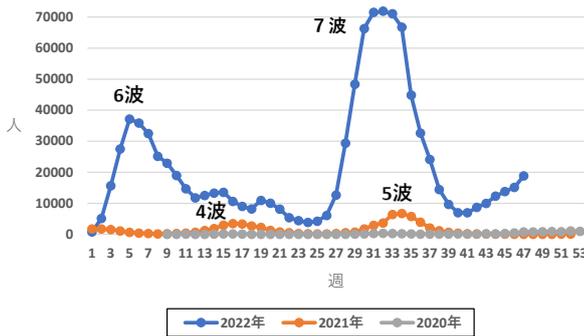
兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

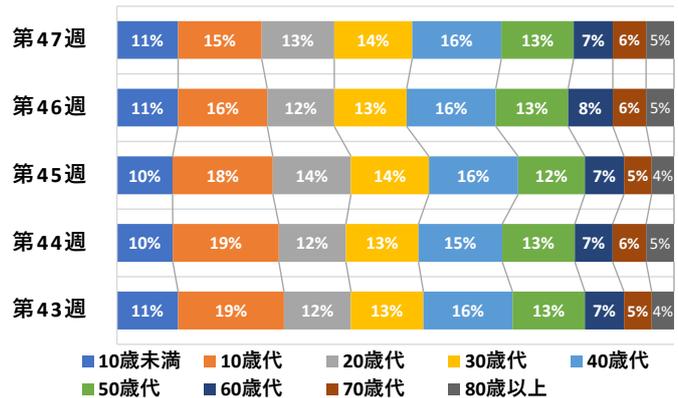
全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

### 新型コロナウイルス感染症に関する情報

新型コロナウイルス感染症患者数(週別)



新型コロナウイルス新規感染者の年齢階級別割合



兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は今週 **18,867** 人(先週 **15,142** 人)で、対先週比 1.2 倍となり、増加傾向が続いています。

年齢別においては、40歳代が16%と最も多く、10歳代が15%、30歳代が14%となっており、30歳代以下の若い世代の占める割合が53%と、依然高い割合を占めています。

今後、感染者数が更に増加していく可能性があり、またインフルエンザとの同時流行も懸念されています。感染症の拡大を防ぐため、今後も引き続き基本的な感染症対策や積極的なワクチン接種をお願いします。

※9月26日(月)から全国一律で全数届出の見直しが行われたため、集計方法が変更になりました。(健康フォローアップセンター等からの報告数を含めています。)

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### インフルエンザ

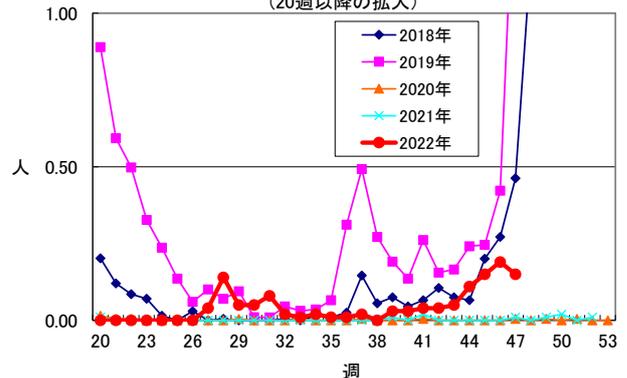
定点あたり患者数は、今週 **0.15** 人(先週 **0.19** 人)と減少しました。今週の患者 29 人の年齢分布では10~14歳5人、6歳4人の順で多くなっています。

学校等の臨時休業は、今週はありませんでした。

当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH3 亜型(A 香港型)** 2 件のインフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)  
(20週以降の拡大)



## 定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	2.85	3.58	-0.73	5位	ヘルパンギーナ	0.22	0.25	-0.03
2位	手足口病	0.82	0.95	-0.13	7位	無菌性髄膜炎	0.21	0.00	+0.21
3位	RSウイルス感染症	0.33	0.47	-0.14	8位	インフルエンザ	0.15	0.19	-0.04
4位	突発性発しん	0.24	0.17	+0.07	9位	流行性角結膜炎	0.11	0.11	±0.00
5位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.22	0.29	-0.07	10位	水痘	0.10	0.13	-0.03

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

## レジオネラ症

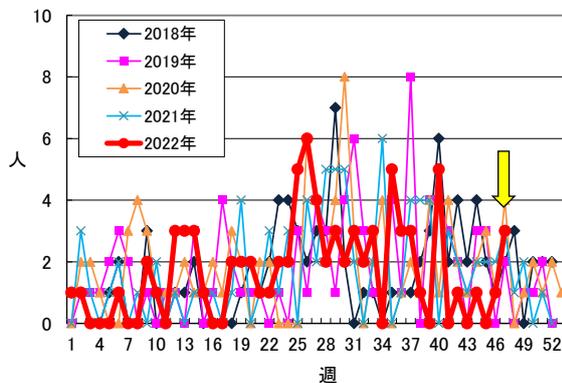
今週 **3** 人（先週 1 人）の報告があり、今年の累積患者数は **81** 人となりました。

性別分布は、男性 73 人、女性 8 人で男性が多く、年齢分布は、70 歳代 28 人、60 歳代 22 人、80 歳代が 14 人の順で多く、50 歳以上が全体の 98% を占めています。

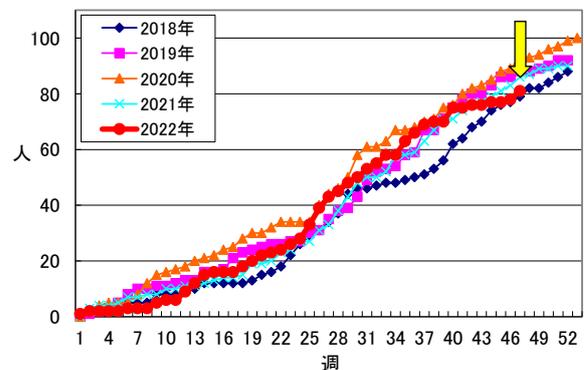
病型別では、肺炎型（重症の肺炎を引き起こす）が 76 人、ポンティアック熱型（一過性で自然に改善する）が 5 人で、推定感染地域は兵庫県内が 67 人、その他国内が 5 人、不明が 9 人となっています。

レジオネラ属菌による細菌感染症で、この菌は土壌、冷却塔水や温泉水などに生息しています。エアロゾル吸入等により経気道的に感染すると、発熱、咳、呼吸困難などの症状がみられ、特に高齢者や免疫機能が低下した場合には、肺炎発症のリスクが高くなります。

レジオネラ症の週別患者数(県内)



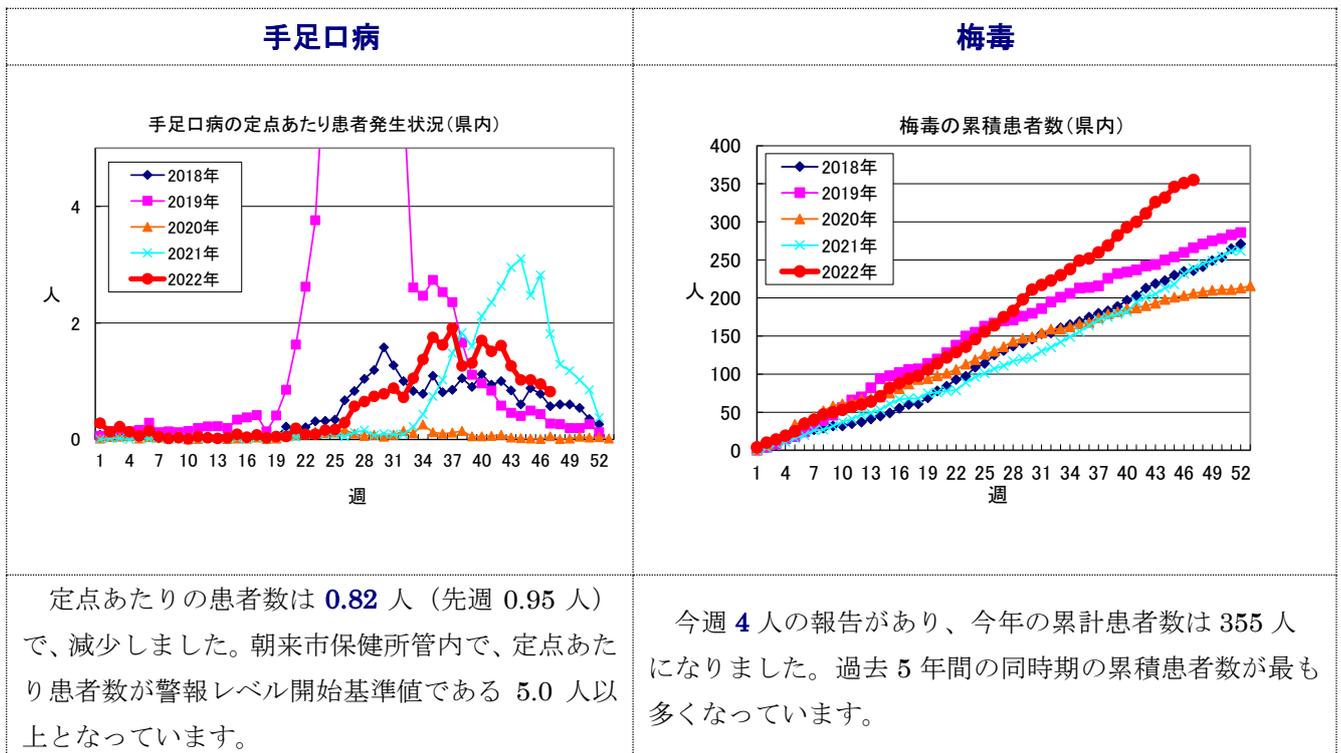
レジオネラ症の累積患者数(県内)



1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 7 人</b> （保健所：姫路市 2 人、明石市 1 人、宝塚管内 1 人、加古川管内 1 人、加東管内 1 人、福崎管内 1 人）
3 類感染症	報告はありません。
4 類感染症	<b>つつが虫病 1 人</b> （神戸市；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） <b>レジオネラ症 3 人</b> （①神戸市；肺炎型；男性 60 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、②神戸市；肺炎型；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染、③神戸市；肺炎型；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染）
5 類感染症	<b>侵襲性肺炎球菌感染症 2 人</b> （①神戸市；男性 2 歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：4 回有、②神戸市；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・

	飛沫核感染；ワクチン接種歴：無) <b>梅毒 4人</b> (①尼崎市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 60歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②尼崎市；早期顕症梅毒Ⅰ期；女性 20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③加古川保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④加東保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20歳代；感染地域：不明；感染経路：異性間性的接触)
2022年第46週までに診断されたものの報告遅れ	<b>侵袭性肺炎球菌感染症 1人</b> <b>梅毒 2人</b>

## 目で見える動向（県内）



この週報はホームページ ([https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho\\_jyoho/infectdis.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html)) にも掲載しています。

4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。